



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第2号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第2号). 泌尿器科紀要 1967, 13(2): 182-182

ISSUE DATE:

1967-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113092>

RIGHT:

## 編 集 後 記

患者カラ 今マデニ受ケタ診療ニツイテ聴イテイルト ソノ医師ノ診療ニ疑問ヲ感ジタリ 驚イタリスル事ガアル。例エバ 或ル若イ男ノ患者ガ 軽度ノ側腹痛ト血尿ノタメニ某病院ヲ訪ネタ。ソコニハ泌尿器科医ハ居ナイガ 膀胱鏡検査ガ行ワレタ。ソレハ非常ニ痛カッタト云ウ。ソノ時ニハ診断ガ決マラナカッタノデ 数日後ニ再ビ行キ 尿管カテーテル法ヲ受ケタ。コレデモ診断ハ不明デアッタガ コノ上ハ 腎臓ヲ摘出スルヨリ仕方ガナイ ト云ワレタ コノ検査ノ後ニハ痛ミト高熱ノタメニ数日間呻吟シタ。ソレデ近所ノ内科医ニ往診シテモラッタトコロ ソノ医師ハコソナ事ヲシテハ大変ダカラ ト云ッテ 筆者アテニ紹介セラレタ。診察シテミルト 一侧尿管下部ニ小結石ガアッタ

別ノ患者ハ中年ノ女アルガ 内臓下垂ガアリ 既ニ外科医ニヨッテ 胃切除ト回腸部ノ手術ヲ受ケ ソノ腸手術ノ時ニ右腎固定術モ受ケタガ 再ビ腎ガ下垂シタノデ 次ニハ コノ腎ヲ摘出スル予定デ ソノタメニ 他側腎ノ健否ヲ検査シテホシイ トノ話デアル。

第1例ハ泌尿器科医デナイ医師ガ 泌尿器科ノ専門技術デアル膀胱鏡検査ヤ尿管カテーテル法ヲ行イ X線検査モ行ッタヨウデアルガ 徒ラニ患者ニ強度ノ苦痛ヲ与エタダケデ診断ヲ下ダシ得ズ シカモ 腎ヲ摘出ショウト云ウノデアル。実ニ言語道断デアル。幸ニ内科医ガ当方ヘ送ッテクレタノデ コノ患者ハ難ヲ逃レル事ガ出来タ 専門ノ技能ノナイ医師ガ他科領域ノ専門的機械ヲ用イテ検査シタリ 誤ッタ判断ヲ下ダシタリスルノハ 以テノ他デアリ 医師ノ倫理ニ反スル事デアル。

第2例ハ泌尿器科医デナイ医師ガ腎下垂ニ対シテ行ッタ処置ガ適当デナク 効果ガナカッタメニ今度ハ腎ヲ摘出ヲ行ウトイウノデアル。コレ亦 我々ノ思イモ及バヌ事デアル。

コノ頃ハ医学ノ領域ガ広クナッタ一方ニ 細分サレ 専門化サレテ来タ。内科モ外科モソレ自体ガ細分サレテイル現状デアル。泌尿器科ハ立派ナ独立科目デアル。他科ノ片手間デ出来ルヨウナモノデハ決シテナイ。モシ安易ニ考エルヨウナ事ガアッテハ 人道ニ反スルヨウナ事態ノ発生モアリ得ル。

専門医制度ハ理論ノ上カラバカリデハナク 上記ノヨウナ現実的ノ面カラモ必要デアル(昭和42年2月)。

## 購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

## 投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。  
例。1) 中野：泌尿紀要、1：110、昭30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。